

科目名	生徒・進路指導論			ナンバリング	EDU163	授業形態	講義
対象学年	3	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	神山敬章	担当教員					

授業の概要	本科目は、教職課程の必修科目として位置付けられており、教科や特別活動とは異なり内容は学習指導要領外であり、文部科学省編生徒指導提要に述べられている。今日の学校教育現場での生徒指導の在り方が問い直されている。管理主義的な生活指導を超えて個の教育の原点に戻り、人間の発達課題上必要な生活指導の在り方について、具体的事例を挙げながら解説し、教師としての生徒指導の方法を理解することを目的とする。						
到達目標	学校教育現場における人間関係論を中心に、発達課題上の問題点や学級経営上の課題、集団組織内の様々な問題、課題を事例から理解できることを目標にする。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	教育実習との関連から理論と実践をよく理解すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1、テキストや資料に基づく授業を理解できポイントを整理できいる。 2、教育の意義を理解できる。	学校教育現場における人間関係論を中心に、発達課題上の問題点や学級経営上の課題、集団組織内の様々な問題、課題を事例から理解できている。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					70%
小テスト・授業内レポート	○	○	○	○			30%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	レポート、試験については添削後返却し個別指導する。
---------------	---------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	授業の進め方・受講の仕方	
	第2回	生徒指導とは	学校教育上の生徒指導とは何かを理解する。	
	第3回	生徒指導の教育的意義1	生徒指導の定義を文部科学省の指導書より運営上その必要性を理解する。	
	第4回	生徒指導の教育的意義2	生徒指導の事例より指導方法の分析や分類を理解する。	
	第5回	生徒指導の機能と方法1	生徒指導の機能を様々なパターンより分析する。特に体罰や懲戒について実態と禁止法令をもとに理解する。	
	第6回	生徒指導の機能と方法2	生徒指導の機能よりその具体的方法とはどういうものがあるか理解する。特にいじめについて実情を把握し法令をもとに解説する。	
	第7回	教育相談とは	生徒指導の1つである進路相談について理解する。	
	第8回	教育相談事例研究	生徒指導の1つである進路相談について事例より具体的指導方法を理解する。	
	第9回	基本的生活習慣の指導1	家庭のみならず学校における生徒の基本的指導の具体的指導方法について現状と課題について理解する。	
	第10回	基本的生活習慣の指導2	学校における基本的生活習慣の指導の事例(早寝、早起き、朝ご飯等)を理解する。	
	第11回	非社会的行動における生徒指導	各種事例研究を参考にして解説する。社会病理としての若者の行動様式にもふれ、具体的な指導を理解する。	
	第12回	反社会的行動における生徒指導	各種事例研究を参考にして解説する。道徳的・倫理的規範をどう指導するか理解する。	
	第13回	学習困難な生徒の指導	各種事例研究を参考にして解説する。学習における様々な問題とその解決策、指導方法を理解する。	
	第14回	不登校の生徒の指導	様々な要因から不登校になる生徒の事例から学校における対応策、指導方法を理解する。	
	第15回	いじめの事例研究	いじめの解明とその具体的事例からいじめの実態、指導方法を理解する。	
	試験	試験は実施する。60分。 テキスト資料の持ち込み可。		
授業の進め方		基本的には講義を中心に進める。		
授業外学習の指示		テキスト、配布資料、参考文献を授業前、後に熟読し理解に努める。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	原田信之編著 「心をささえる生徒指導―生徒支援の理論と実践―」 ミネルヴァ書房 定価2000円＋税 ISBN4－623－03727－4
参考書	文部科学省 「生徒指導提要」 定価290円 ISBN978-4-87730-274-0
参考URLなど	
その他	